

民俗芸能大会

福井大会

演目紹介

きたがた こよう
北潟古謡どっしやどっしや

福井県指定無形民俗文化財

北潟民謡保存会（福井県あわら市北潟）

北潟古謡どっしやどっしやは、毎年7月末にあわら市北潟の八雲神社例大祭の際に安楽寺で行われる民謡踊りです。

「どっしやどっしや」の三・七、七・五という独特の音律は、記紀、万葉集などにもみられるものです。問答形式のものが多く、北潟での暮らしや嘆き、悲しみ、仏の加護を信じる趣を漂わせたものが多いのも特色です。



ふなっ ぽん
船津盆おどり

岐阜県重要無形民俗文化財

神岡民謡保存会（岐阜県飛騨市神岡町）

船津盆おどりは、三味線と太鼓に連れてゆったりとした「サーサ」「トコヤットセ」というお囃子にのって唄われ、神岡町の夏の風物詩として心を和ませています。踊りは歌舞伎役者「市川回菊」が加えたとされる、地面からあまり離さない花魁のような足さばき「外八文字」が特徴です。



あまじ ししまい
甘地の獅子舞

兵庫県指定重要無形民俗文化財

甘地獅子舞保存会（兵庫県神崎郡市川町）

甘地の獅子舞は、毎年10月第2土曜日の八幡神社例祭で奉納されます。「橋弁慶」は、ササヲを持つ囃子児達が獅子を浮かれさせて共に舞います。「餌拾い」は囃子児の持つ鞠を欲しがった獅子が、鞠を独り占めにして嬉々として舞い、最後は猛然と舞い納めます。「花がかり」は獅子が牡丹の花の香りに酔いしれ、口中に含んだ花びらを撒き散らしながら優雅に舞い納めます。



ばか
馬鹿ばやし

福井県指定無形民俗文化財

馬鹿ばやし保存会（福井県福井市手寄）

馬鹿ばやしは、毎年5月24日に行われる火産靈神社の春季御例祭で奉納されます。

見所は「太鼓打ち」の所作で「大べしめ」「お多福」「ひょっここ」などの面と衣装を着け、その人物にふさわしいこっけいな仕草をしながら太鼓を打ちます。いずれもユーモラスでどこかのんびりとして上品なものもあります。



ほうじょうづ はちまんぐうさい ひきやま つきやまぎょうじ ひきやまばやし
放生津八幡宮祭の曳山・築山行事の曳山囃子

国指定重要無形民俗文化財

放生津八幡宮曳山・築山保存会（富山県射水市八幡町）

毎年10月1日に、放生津八幡宮の秋季祭礼で行われる曳山巡行で、曳山が動く際に演奏される囃子です。

放生津の曳山囃子には、落ち着いた曲調の「本囃子」と、賑やかな「雑曲」があり、曳山に乗り込んだ笛・太鼓・鉦・三味線の囃子方が、祝儀が出された際や神社の前、曲がり角、曳山が後退するときなど、巡行の場面に合わせて様々な曲を演奏します。



せん ばん どうだいねんぶつきょうげん
千本えんま堂大念仏狂言

京都市登録無形民俗文化財

千本えんま堂大念仏狂言保存会（京都府京都市上京区）

千本えんま堂大念仏狂言（えんま堂狂言）は、毎年5月1日～4日の本公演で全28演目が演じられています。京都に4つある大念仏狂言は、面をつけて演じられます。この中でえんま堂狂言だけは、セリフがあるのが特徴で、笑って楽しめる芸能です。1000年以上の歴史を有する、この狂言を継承する保存会は、日々後継者育成に励んでいます。



ひがしき び ろくさいねんぶつ
東佐味の六斎念仏

奈良県指定無形民俗文化財

東佐味六斎講（奈良県御所市東佐味）

東佐味の六斎念仏は、奈良県の中部、御所市東佐味に伝わる民間信仰です。六斎念仏とは、六斎日に念仏や和讃を唱える行事で、他地域では笛・太鼓・踊りを取り入れた華やかなものが見られますが、東佐味では鉦に合わせ「南無阿弥陀仏」と抑揚をつけて唱えるのみの素朴なものが伝わっています。



優先入場申し込みについて

申し込み期間 令和7年9月1日（月）～10月31日（金）16:00まで

※優先入場に申し込みされた方は、11:50より会場にご入場いただけます。

※優先入場は、席の確保を約束するものではありません。

※複数名で申し込まれた場合、まとめてご来場ください。



問い合わせ先

福井県教育庁生涯学習・文化財課 文化財グループ

〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17番1号

TEL 0776-20-0579



アオツサ8F
県民ホール

●JR 福井駅東口から…徒歩1分
●北陸自動車道福井ICから…車で15分